

# 深イ〜話!

No.49

——「みやざき中央新聞」平成23年1月社説より——

成人式の話・・・（後半部分だけ）

宮崎市の成人式は全国でも珍しく中学校単位で行われる。

荒れた成人式が話題になり、6年前から地域の手作りの成人式になったという。

会場が出身中学校のため、荒れることもなくなったそうだ。

1月9日、地元の中学校に戻ってきた成人は、女の子の着物姿は豪華、男の子も原色の派手な紋付袴、スーツの子も奇抜なヘアスタイルで決めていた。



スタッフとして関わった人の話・・・

後ろから見たらトラブルが起きなくて良い成人式であった。

でも前から見ていると・・・

それは話を聞く態度がとてもひどかった。特に男の子はという話が出ていた。大人の話をつんぞり返って聴いていたり、ずっとおしゃべりして聴いていない。「非社会的」な光景が目立ったそうだ。式を盛り上げるために、小中学生の吹奏楽の演奏も行われたが、全然聴いていない人も多く、「もう来年はやりたくない」ともらしていた小学生もいたとか。

（中略）

高度経済成長と、バブル経済の時代、私たちはあまりに忙しくて、先人たちが当然のようにやってきた「子どもを大人にするという宿題」を忘れてきたように思う。それが今「非社会的」な子どもたちの大量発生に見て取れる。もちろん、ちゃんと「宿題」をやった大人たちもいる。

いい話も聞いた。

成人式会場にクロネコヤマトの仕事着の若者が一人入ってきた。

一日休むとトラック一台分の荷物の配達が一遅れる。

人手も足りず、仕事を休むことができなかったということで、彼は配達途中で式典の会場に立ち寄ったとのことだった。

受付の人が「住所を書いてください。最後に記念写真を撮って送りますから」と言うと、

「いやあ、この格好だから記念写真は結構です」と断った。

そのとき、受付の女性が言った。

**「何言ってるのよ！ あなたが一番かっこいいですよ！」**

よくぞ言ってくれたと思う。そして、「あの子は聴く姿勢もよかったですよ」と話していた。

出来上がってきた記念写真を見た。

左端に写っていた緑色のジャンパー姿の若者が、**誰よりも誰よりもかっこよかった。**